

高松学習館運営協議会（令和 6 年 3 月）会議録概要

開催日時 令和 6 年 3 月 14 日（木曜日）午後 6 時 30 分～8 時

開催場所 高松学習館 第 2 教室

出席者 [委員] 吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

山口聡子（青少年健全育成曙町地区委員会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

師岡寛（自治会連合会高松町支部）

服部裕美（高松児童館）

栗原政子（学習館利用団体）

難波敦子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 3 名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ 今晚は。先日の地運協交流会はお疲れ様でした。交流会の中で他の地運協では学校だよりを毎回見ているという話を聞いた。「学社一体」に向けて少しでも学校のことを知っていこうということで本日の資料に追加していた。良い変化につなげていきたいと思う。

2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。

- ・地域学習館運営協議会交流会(2/17 実施)について 市役所 302 会議室にて高松地運協が担当し、委員 16 名、学習館職員 13 名が参加した。

神山委員より「学習館事業における地域人財(材)活用について」というテーマで趣旨説明をしていただいた後にグループに 2 回分かれて意見交換を行った。

参加した委員より感想が述べられた。

- ・馴染のある委員さんが多く参加されていた。地域性の違いが如実に出ていたと感じた。西砂で実施していることで高松にも採り入れていけることがあったらと思った。学習館と地域住民の距離が近く自分の家の一部のような存在。仕切りがなく子どもも大人も集まってくる。高松の周辺はいろいろな居場所があり過ぎるので難しい。
- ・高松児童館の地域交流会に参加してきた。図書館の館長さんも一緒だった。児童館は中高生も来ていい場所だが、行く場所がたくさんあって子ども達は居場所に困ってないのかなと話した。地域差があり、課題解決としていろいろ考えていく必要があると感じた。
- ・地運協のおたよりを年に数回発行しているという話を聞いた。地運

協の活動の紹介が載っているので広く周知できると思った。学校コーディネーターと地運協が深く関わっている学習館がある。

- ・ 高松地運協も学校コーディネーターの方に地運協の案内を継続的に出していくことで学校とのつながりができていくと思う。
- ・ 各学習館で地域の特色を活かして活動されていると感じた。それぞれの携わっている場で来ていただいたり学習館で出会った方達が地域へ出て活動されたりという行き来が印象に残った。幸学習館では地域の気象予報士さんが子ども向けに講座を開いてくださるようになったという話を聞いた。高松は駅近くで賑やかな地域の特色を活かしながら事業など一緒にできたらいいなと思った。
- ・ 社会福祉協議会から地域福祉コーディネーターが各学習館の担当で配置されている。錦はプレまつりの時に通信制高校と引き合わせていただくなど、地域の方々と関わりを持たせていただいている。
- ・ 西砂の団結力が強い。皆さんが熱心に活動されている。高松については子どもまつり、子どものイメージが強いと言われた。学芸大のたかまつりの影響かと思われる。お風呂屋さんに行くと若い世代が多く来ているという話を聞いた。若い世代に流行っていると聞いて以外だった。お風呂屋さんにアンケートを置くのもいい。
- ・ 図書館から見ると学習館は楽しそうというイメージがあると言われた。たかまつりの印象が強いのかもしれない。スタッフは大変だったが、関わった学生さん達にはとてもいい経験になったと思う。
- ・ 今回の交流会ではざくばらんに会話できてよかった。
- ・ フレイル予防体操(2/1、2/15 実施)について
24名の参加があり、アンケート結果も好評だった。身体の仕組みを学びながら椅子に座って筋トレのような体操やストレッチをした。自宅でも実施と言われたが、なかなか覚えられないのでプリントがあれば嬉しいというお声があったので、次回は講師にお願いしたい。
- ・ 誰でもコンサート(3/2 実施)について 障害者理解プロジェクト
第Ⅰ部の子ども向けは親子32人参加、第Ⅱ部の大人向けは46人の参加があった。アンケート集計結果も好評だった。柔らかいクラリネットの演奏で人によって時間の長さについて感じ方が異なるのかもしれない。
当日の司会と受付を地運協委員で担った。
来年度の企画について、出演者から紹介いただいてバンケット・ブラス(banquet brass)という金管楽器のグループを紹介していただいた。
検討の結果、会場をさかえ会館で幸学習館地運協と共催事業として進めていくことになった。
- ・ 第42回高松学習館文化祭【作品展準備会 3/14、演奏会準備会 3/15】について
 - ・ 来年度は作品展と演奏会の一体化を目指す方向で開催日程を近く設定している。学習館の会場都合で同日開催が難しいため、作品展と演奏会を2週続けて開催するスケジュールになっている。

- ・ 本日午前に作品展参加サークル代表が集まり準備会が開催された。
難波副会長も出席し、同じ学習館で開催される作品展と演奏会の一体化という意味で当日配布のパンフレットを合体することを提案していただいた。参加サークルの方からは特に反対意見は出なかったので、明日の演奏会準備会で諮ることになっている。
- ・ 同じ建物で活動するサークル発表会で今までは作品展参加サークルは作品展だけ、演奏会参加サークルは演奏会だけでまったく別物というイメージが強かった。一緒にやっているという一体感が芽生えると思って1冊のパンフレットにすること提案した。
- ・ 「たかまつり」文化祭、「たかまつり」作品展、「たかまつり」演奏会という名称でPRしていきたい。
- ・ 統一感を出すという意味で、準備会は別個に開催するにしてもふりかえりを一緒に開催したらいいと思う。最後に皆さんからご意見を伺って来年度につなげられると思う。利用団体同士の交流も図れる。
明日の演奏会準備会でふりかえりの日程について提案したい。
- ・ 高松学習館には広い講堂やホールがないというスペースの問題はあるが、例えば、作品展の展示物を少し減らして、一日だけでも音楽サークルの方に短い時間でも演奏してもらおうという形もある。工夫次第で部分的に一緒にやることもできる。
- ・ 明日の演奏会準備会でパンフレット、ふりかえり日程、作品展への一部参加など提案することになった。
- ・ その他
 - ・ 学習館備品について 第1教室の電子ピアノは2月末にアップライトピアノと入れ替えて使用を開始している。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・ 令和6年度地域活性化事業（案）について
日程が決まっている事業について説明があった。
- ・ ネイルケア講座について 内容、日時について講師と具体的に詰めていくことになった。
- ・ オンライン講座の実施について 学習館でもデジタル化を進める方向。
内容について次回会議以降にアイデアを出し合って検討していくことになった。オンラインの利点はマルチアングルなので活用できたらという意見があった。
学芸大の学生さんへの打診、地域の高校で該当する部活動などがあるか調べる。委員で伝手のある学校などにデジタル関連の部活があったらご協力いただけるか問い合わせることになった。
- ・ 令和6年度作品展ワークショップについて
今年度の実施内容をふりかえり、来年度の具体的な実施内容について次回

会議で検討することになった。スタンプラリー、ポップコーン、実習室でミニ演奏会を実施するなど、アイデアを持ち寄ることになった。

- ・ 第7期報告書について 委員の感想文は3月末までに事務局に提出をお願いしている。次回会議で報告書(案)を確認いただく予定。

(3) その他

- ・ 学校だより 高松地運協の担当校区の小中学校だよりにぜひ目を通していただきたい。青少健で配布、町会の回覧で回っている。
- ・ 次回の会議開催日について確認した。

4. 地域課題共有 各委員より所属団体の活動について報告があった。

- ・ 曙夏まつり：8/3(土)、8/4(日)に開催。高松学習館も一つのブースで参加することも検討していただきたい。曙町のイベントに関わっていただけたら、曙町の住民にも高松学習館のことを知っていただく機会になると思う。
- ・ 毎回この場で委員から地域課題を出してもらっていくことで学習館自体は即解決の糸口とはならないが、その場にはなり得るかもしれない。お互いに関わって行って協力できることはやっていける。いろいろな壁や誤解も取り去られていく。各種団体の話を聞くことは大切。
8月の曙町のイベントについても検討していきたい。
- ・ 4月から高松児童館の館長が交替する。
- ・

以上